

第8回湘南浦高会主催「鎌倉散策～北鎌倉編」結果報告

毎年恒例の鎌倉の紅葉を楽しむ「鎌倉散策」は今年で8回目を迎え、過去最大の参加者を得て12月7日(土)に開催された。当日は好天に恵まれたこともあって、集合場所の JR 北鎌倉駅前は大一杯。

まずは午前10時に湘南浦高会平井会長から歓迎の挨拶があり、続いて湘南浦高会メンバーで地元鎌倉ガイド協会幹部でもある坂本氏からコースの説明を受け、総勢29名の団体はA、Bの2グループに分かれて出発した。

＊テーマ:「紅葉の鎌倉散策」

＊コース:「円覚寺→長寿寺→円応寺→鶴岡八幡宮→静久(懇親会場)」

[1]円覚寺 鎌倉五山第二位 臨済宗大本山 創建:1282年 開山:無学祖元 開基:北条時宗

★境内は総門、山門、仏殿、法堂などが一直線上に、両側に僧堂、庫裏、東司、浴室が並んだ中国風の伽藍配置だったが、1374年の大火で全てが消失。4年後に鎌倉公方足利氏満の支援で仏殿が再建された。

★山門:1783年ころに再建。

★仏殿:関東大震災でまたも焼失。現在の建物は昭和39年に再建。

★仏日庵:北条時宗が開基。その後北条氏の廟所に。

★洪鐘:北条貞時が寄進した鐘。建長寺と常楽寺の鐘と共に鎌倉三名鐘と呼ばれる。



(円覚寺にて参加者全員記念撮影)

[2]長寿寺 創建:1336年 臨済宗 開山:古先印元
開基:足利尊氏

★伽藍:足利尊氏の息子の鎌倉公方基氏が尊氏の菩提を弔うため大規模な七堂伽藍を建立したと言われている。

★本堂に足利尊氏坐像と古先印元坐像が祀られている。境内奥のやぐらには、尊氏の遺髪を埋めたとされる五輪塔がある。

★このお寺自身春と秋の季節限定で公開され、見事な庭園を屋内から鑑賞すると、境内を一周する小径を廻ることにより、じっくりと晩秋の紅葉を楽しむことができる。

[3]円応寺(園應寺) 創建:1250年 臨済宗 開山:智覚禅師 本尊:閻魔王

★閻魔堂、十王堂 とも呼ばれていて、人が死後に出会う十王を祀っている。

★本尊の閻魔大王は坐像は鎌倉時代の仏師運慶の作と言われ、国の重要文化財。瀕死の運慶が閻魔大王に地獄から追い返されて蘇り、笑いながら彫ったため、像も笑っているように見えるとの伝説から「笑い閻魔」として庶民にも親しまれて来た。

[4]鶴岡八幡宮

★祭神: 応仁天皇 源頼義が1063年に源氏の守り神として京都の石清水八幡宮を由比郷鶴岡に勧請したことに始まる。

★1081年に源の義家が修復、1180年鎌倉入りした源頼朝が現在の地に遷座して鶴岡若宮と称した。

★源氏の守り神として鎌倉幕府から尊崇された鶴岡八幡宮は、広く武門の神として分霊され全国に知れ渡った。その後、足利氏、豊臣氏、徳川氏からも篤く崇敬された。

★神事では、狩装束の射手が馬を走らせながら鎬矢で三つ的を射る流鏑馬神事が有名。



(坂本ガイドの説明に耳を傾ける参加者)

★大銀杏: 「隠れ銀杏」で有名な大石段脇の大銀杏は、源実朝を危めるため公暁が陰に隠れたという伝説があるが、2010年3月に強風のため倒伏した。現在は関係者の必死の努力により「ひこばえ」が立派に成長し、将来に望みを託している。

[5]レストラン静久(懇親会場)

★12時半ころ、無事予定通りコースの最終地点である懇親会場に到着した。今村大宮浦高会会長のご発声による乾杯の後、参加者全員による自己紹介が約30分間に亘って展開された。この「全員自己紹介」は、湘南浦高会主催「鎌倉散策」の恒例の行事で、埼玉県や東京都、そして地元神奈川県から参加されたメンバーによってコメントが陳べられ、お互いを知る良い機会になっています。

★13時半ころにはすっかり全員が打ち解けてきて、和気藹々の雰囲気醸成されていましたが最後に北山元応援団長のエールで締め、名残を惜しみつつ来年の「鎌倉散策」での再会を期してお開きとなりました。

★三々五々、小町通りに行くグループ、若宮大路を途中豊島屋で「鳩サブレ」のお土産を買うグループに分かれて、人込みの中を歩いて鎌倉駅に向かった。

(湘南浦高会会長 平井隆一記)